

もりのにぎわい通信

2013年12月14日 定例活動報告

日時：2013年12月14日（土）9：30～16：00

場所：小山町 観音地

天候：曇 気温 8～10℃ 湿度 44% 風向 西南西風速 5m

定例会参加者：11人：子供4人、大人7人（小山町・土地改良区0人）

■ 活動

9:30 集合、クズの蔓きり

10:00 門松作成

12:00 昼食(焼き芋とチーズパン)

13:00 門松作成・トイレ補修・そら豆の霜よけ設置

15:30 片付け

16:00 解散

■ 活動報告

今回は門松を作ってみようという事で、12月7日にも竹の切り出しのために集まりました。切ってみると随分よごれていたりして所定の6家族分、つまり3本組の両サイドの6本、余裕をみて40本分を切り出すのにも結構時間がかかりました。さらに門松を立てる鉢と、縄、さらに菰などを購入するため一隊はカインズホームへ、もう一隊は水が減り切ってしまった池の水を手当てすることになりました。なかなか簡単でもなく全て終わる頃には真っ暗になってしまいました。

一週間して本番12月14日は、雲一つない空でこの時期にしては風もなく温かい一日となりました。講師として国際交流推進機構の川井さんが毎年門松を作っておられるということでお願いしました。川井さんは既にご自分の竹を用意されていて我々の用意した竹より大分太いものでした。また、飾り付けの南天も用意していただきました。

松の苗木林から枝を切り出してくるのは、枝が柔らかくて簡単でした。問題は竹を鋭角に切ることでした。節の部分を入れて切ると断面が笑顔に見えるので縁起がよいという解説がネットに載っていましたが、より固くて細工が難しくなります。ネット上の公開作品が皆これにこだわっているようでもないので早々にあきらめました。節をはずしてもまだまだ綺麗に鋭角に切るのは難しい作業で何度か失敗作も作りましたが、トライ毎にだいぶ皆さん腕があがりました。

午前中は1基を松・南天まで飾りつけ完成させました。ここでチーズパン、焼き芋、お茶で完全な昼飯になってしまいました。午後からは量産体制に入る予定でしたが、竹を切るのに加え、葎の寸法合わせも難しく全部片付けるには4時を回ってしまいました。大変苦勞しましたがなかなかの出来栄えと皆さん満足でした。

台風で倒れたトイレですが、この前の強風でまた倒れてしまいました。

今回は、古木さんにごんばって頂き、竹をトイレの周りに打ちこみ、四方4ヶ所に鉄の杭を打ち、厳重にロープでトイレを巻きつけ、補強を行いました。

最後に笹と余った松でそら豆の霜よけを行い、本日の作業は無事終了しました。

鬼が笑うかもしれませんが、来年はもっと大がかりな企画にしたら面白いかもしれません。

第1ステップ 竹退治に貢献して、門松用の竹を切っておく。

一部は支柱に使う。竹馬、散策路の境界

最後はチップかな？ ということで改良区に協力してもらおう

第2ステップ 松は枝打ちで十分。

第3ステップ 南天をどうしようかな？ と思いましたが

今年の南天の実を邪魔にならない所に植えておきましょう。

使用後の後始末のついでです。（むしろ第0ステップか）

どうかなあ、鬼が笑いますかね？でもどこの里山だって竹の侵食には困ってるんですよ。これで松の枝打ち・間伐といったお手入れと竹の退治を兼ねた企画ができたと思います。

(記録：金井 章男)

■ 森もりあそび隊

雲一つ無い青空の下での今回の定例会。森もりあそび隊は門松作りのお手伝い。竹を鋭角に切るのにてこずっている大人を尻目に、丁寧に深い角度で竹を切っていく。なかなかのノコギリさばきだ。二本程切るとさすがに疲れ、竹を切ったクズを集めて遊び出した。何でも遊びの材料にするのがスバラシイ！

小さな隊員たちは、小さな町を創り出していた。山を作りトンネルを掘り、道を作り…創造力は自然の中から生まれるんだね。

さて、前回の焼き芋のリベンジ！今回は池の脇の砂山に穴を掘り、火を焼べ、濡れ新聞□アルミホイルに包んだ森で採れたサツマイモを直接火に当たらないように土を被せて入れ、余熱でジワジワ焼き上げた。脇でチーズパンも温め、焼きイモ共々とても美味しくいただきました！

果たして、各家の門松はととても立派に出来上がったのでした。

皆さん、良いお年を…。

(記録：石阪 淳)

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、1月25日（土）予定です。除草作業・森の清掃・果樹の追肥を行います。





